



タケダ国内ビジネス部門における 気候変動への挑戦

- PLANET いのちを育む地球のために -



Better Health, Brighter Future

2023年8月作成

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation) 」とは、本プレゼンテーションにおいて武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあり得ます。同様に、「当社 (we, us及びour) 」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本資料に記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets) 」、「計画する (plans) 」、「信じる (believes) 」、「望む (hopes) 」、「継続する (continues) 」、「期待する (expects) 」、「めざす (aims) 」、「意図する (intends) 」、「確実にする (ensures) 」、「だろう (will) 」、「かもしれない (may) 」、「すべきであろう (should) 」、「であろう (would) 」、「することができた (could) 」、「予想される (anticipates) 」、「見込む (estimates) 」、「予想する (projects) 」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の業績は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の業績とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品および既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、当社が事業を行う国の政府を含む当社とその顧客及び供給業者又は当社事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとつての非中核事業を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社のウェブサイト(<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/>)又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果又はその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

240年受け継がれてきた精神を次の時代へ



1781年創業

242

周年

「三方良し」

「売り手良し」、「買い手良し」、「世間良し」

サステナビリティの源流ともいえる価値観を実践



タケダの企業理念



私たちの存在意義

世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する

私たちが目指す未来

すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために。私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

私たちの価値観： タケダイズム

タケダイズムとは、まず**誠実**であること。それは**公正・正直・不屈**の精神で支えられた、私たちが大切にしている価値観です。私たちはこれを道しるべとしながら、「1. 患者さんに寄り添い (**Patient**) 2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**) 3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**) 4. 事業を発展させる (**Business**)」を日々の行動指針とします。

私たちの約束

PATIENT

すべての患者さんのために

PEOPLE

ともに働く仲間のために

PLANET

いのちを育む地球のために

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします



人々の健康を守る観点からPLANETに取り組む



21世紀の最大の公衆衛生上の脅威は、気候変動

気候変動が、地域にもたらす影響は、政治や社会システムの維持にも膨大なストレスを与えることが予想され、
複合的な公衆衛生上の世界的な脅威となりうる

過去50年の医療の進歩が帳消しになる

半世紀に亘る長寿化や健康面の進歩を台無しにする可能性がある。

今後10年間のアクションで世界の平均気温上昇を2℃未満に抑えなければすべてが崩壊してしまうかもしれない

Paul Anthony Costello et al. (2009). Managing the health effects of climate change. The Lancet Commissions, , MAY 16; 373(9676):1693-1733
Nick Watts, MA et al. (2015). Health and climate change: policy responses to protect public health. Lancet, Nov 7; 386(10006):1861-914
Global Warming Could Undo 50 Years of Health Gains - Scientific American

タケダの温室効果ガス排出量ネットゼロに向けた全世界での取り組み



スコープ1：営業車のガソリン消費由来の温室効果ガスなど
スコープ2：オフィスで使用した電力由来の温室効果ガスなど
スコープ3：サプライヤーのGHG、出張や通勤に伴う温室効果ガスなど



バリューチェーン全体で
カーボンニュートラルを達成
その状態を維持



タケダの事業活動による温室効果ガス排出量
(スコープ1及び2) ネットゼロを達成



タケダの事業活動（スコープ1、2）及び
バリューチェーン全体（スコープ3）の
温室効果ガス排出量ネットゼロを達成

2020年

● 2035年

● 2040年

いのちを育む地球のための、グローバル全体でのアクション



2020年度までに
バリューチェーン全体で
カーボンニュートラルを達成
その状態を維持



2024年度までに
サプライヤーの67%が
科学的根拠に基づいた
削減目標を設定



2025年度までに
事業活動に起因する
温室効果ガス排出量を
2016年度比で40%削減

2021

再生可能エネルギー100%

大阪、光、成田、泉佐野、湘南（R&D）

日本の工場や研究所で使用する電力は100%グリーン電力です。これにより年間30%のCO₂排出量を削減しています。



天然ガスから グリーンスチームへの転換

米国マサチューセッツ州
ケンブリッジ

転換によってビル運用時の温室効果ガス排出量を40～50%削減しています。



太陽光発電設備の導入

米国カリフォルニア州
ロサンゼルス

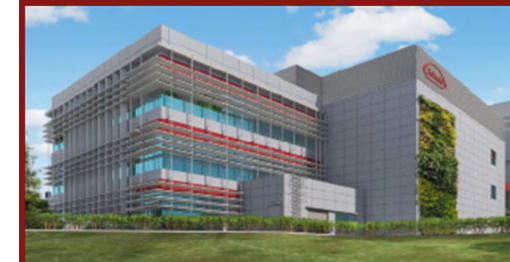
年間の電力購入量を約833MWh削減し、温室効果ガス排出量は約280t-CO₂削減しています。



ゼロ・エネルギー・ビル

シンガポール

タケダ製造拠点初の「ゼロ・カーボン・エミッション」ビルを着工。シンガポール政府の「ゼロ・エネルギー・ビル・スキーム」に沿ったビルです。



いのちを育む地球のための、グローバル全体でのアクション



2025年度までに
医薬品の2次・3次包装に使われる
紙やファイバーボードの
50%をリサイクル素材または
森林認証素材に変更



2025年度までに
廃棄物の90%以上を
埋め立て以外で処理



2035年までに事業活動
による温室効果ガス
排出量ネットゼロを達成



2040年までにバリューチェーン
全体での温室効果ガス排出量
ネットゼロを達成



2040

90%の水をリサイクル

ベルギー・レシーヌ

製薬業界初の大規模な廃水リサイクル
施設です。



サプライヤーとの連携

「Energize」プログラム

製薬企業10社による初めての取り組み。
サプライヤーによる再生可能エネルギー
利用を促進します。



医薬品の開発から 持続可能性へ配慮

製薬業界初のプロセスにより、研究開発に
「グリーンケミストリー」原則を導入し、
製造工程における水の利用量を削減しました



タケダ国内ビジネス部門における気候変動への挑戦



目的

CO₂を削減し、タケダの存在意義と私たちの目指す未来を実現する

※医療関係者、患者さんへの情報提供の質は低下させません

実施すること



資材デジタル化※

最新情報をお届けできるデジタル資材を活用することで紙削減に取り組みます

※ 患者さんの指導せんなど、必要なものは紙でも提供をいたします



社用車EV・HV化

社用車のEV/HV導入を加速させ、エコドライブも実施しCO₂排出を減らします

CO₂排出量
(2021年データ)

CO₂排出量 **2,370t/年**

パンフレット100部で14kgのCO₂排出

CO₂排出量 **2,800t/年**

ガソリン車1,000km走行で142kgのCO₂排出



グローバルなバイオ医薬品企業



グローバル本社
東京 日本橋

グローバルハブ
米国 マサチューセッツ州
ボストン地区 ケンブリッジ

約40 臨床試験段階にある
新規医薬品候補

グローバル拠点
約80 の国・地域

25+ 製造拠点

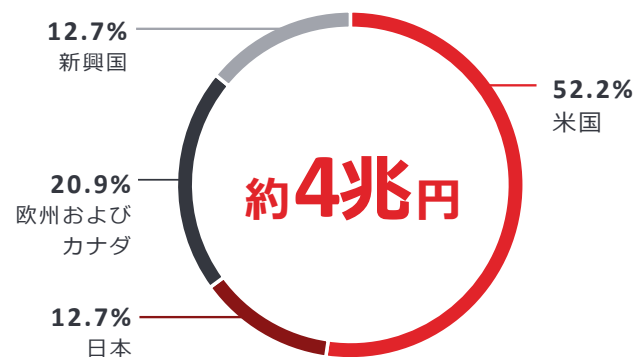
3 研究拠点

200+ 積極的な
パートナーシップ
革新的なアイデアを実現するために

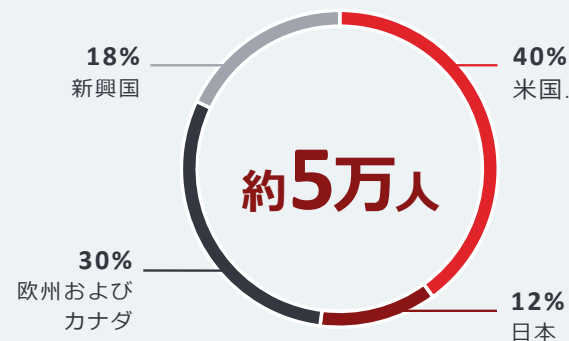
39 カ国
および4地域での
TOP EMPLOYER® 認定

2023年5月時点（一部データを除く）

2022年度売上収益



2023年3月31日時点



創業

1781年

大阪 道修町

従業員

タケダのサステナビリティ

医薬品を越えて 責任ある成長を遂げ、社会に価値を提供する

私たちの中に深く浸透しているタケダの価値観は、一番大切にすべきことのためにビジネスをどのように行うかを導く行動指針となっています。

すべての意思決定において患者さんを最優先とし、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させる。従業員は存在意義（パーパス）の実現に向かって事業に取り組み、株主や社会に持続的な価値を提供します。



私たちの存在意義を 果たすためのサステナビリティ

私たちには、自らの強みと能力を十分に生かし、社会的価値を創造していく責任があります。未だ満たされていない医療ニーズへの対応、持続可能な医療システムの確立、気候変動対策、多様で包括的な働きがいのある組織づくりなど、社会の重要な課題の解決に貢献できるよう努めています。このアプローチを「私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティ」と呼んでいます。



Access to Medicines 医薬品へのアクセス向上をめざして



医薬品アクセス（Access to Medicines, AtM）プログラムでは、世界の医療サービスが十分でない地域で、重篤な疾患をもつ患者さんなど、多くの患者さんの生活が向上するような取り組みを続けています。



ヘルスシステム強化プログラム

ヘルスシステム強化プログラムでは、世界中の医薬品アクセスの向上に取り組んでいます。



アフリカ・サハラ砂漠南部地域における「ブループリント」や「BVGHプログラム」によって、これまで**20万人**以上の人に、がんや糖尿病、高血圧のスクリーニング検査を実施しました。また、**12,000人**以上の治療が必要とされる方を診断し、**3,300人**以上の医療従事者やコミュニティヘルスワーカーの皆さんへトレーニングを実施しました。

Data up to September 2021



革新的な費用負担プログラム

「革新的な患者さんの医療費負担および慈善アクセスプログラム」は、革新的な医薬品に対するアクセスを向上させるプログラムで、**世界55以上の国と地域**で実施されています。

このプログラムにより、**4,500人**以上の患者さんの医療費負担の問題解決をサポートしました。

Data up to December 2021



信頼を築く

Access to Medicine Index 2021において、**総合第6位**、さらに「医薬品アクセスのガバナンス」の категорияにおいては**首位**を獲得しました。

持続可能な未来に向けた戦略的な取り組み

グローバルCSRを通じて、疾病予防の進歩を早め、医療従事者がいきいきと働き、想定外の事態に対処できる強固な医療システムを構築することで、質の高い医療が提供され疾患の負担が軽減される、そんな健康的で輝かしい未来を築くことを目指しています。

グローバルCSRプログラム

74

国・地域で活動



毎年、従業員による投票でプログラムを決定

162億円

2016年度から2021年度までの合計寄付金額

20

グローバルCSRプログラム

グローバルCSRパートナー

多国籍でアカデミックな団体と協働



[グローバルCSRプログラムの詳細を見る \(TAKEDA.COM\)](https://www.takeda.com)

私たちは、自然環境の保全に寄与します



いのちを育む地球のために

PLANET



私たちは、自然環境の保全に寄与します。
地球の生態系と人々の健康を守るために、
タケダの先端技術を結集し、環境に対する
高い問題意識をもって、世界をリードします。

優先事項 1 : 循環型経済（サーキュラーエコノミー）の原則に基づき、
製品やサービスの環境に対する影響を最小限に抑えます。

優先事項 2 : 私たちの事業およびバリューチェーンの脱炭素化を図ります。

優先事項 3 : 世界の天然資源を守るという従業員の自発的な意識向上を促します。



重要な用語の解説 (1/3)



重要な用語	解説
二酸化炭素換算量 (CO ₂ e)	Carbon Dioxide Equivalentの略であり、さまざまな種類の温室効果ガスによる影響を意味します。二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量を、相対的な地球温暖化係数に基づき、CO ₂ 排出量に換算して表すための単位です。二酸化炭素 (CO ₂) や、メタンをはじめとする他の温室効果ガスは、化石燃料の採掘、炭素を含む燃料や材料の燃焼、その他多くの活動において排出されます。
カーボンフットプリント	製品の製造、加工、作業、車両の走行といった活動や、個人・組織・コミュニティの活動によって、大気中に排出される温室効果ガスの量です。
カーボンニュートラル	大気中に排出される二酸化炭素量および二酸化炭素換算量 (CO ₂ e) の正味量が、主にこれらの排出を相殺するなどの活動により均衡し、ゼロになる状態を達成したことを意味します。
循環型経済 (サーキュラーエコノミー)	廃棄物を削減し、ライフサイクルを終えた製品から資源を回収し、再び原材料としてバリューチェーンに戻すことで、環境負荷の大幅な低減を目指すことです。製品および原材料の価値をできるだけ長期間にわたって高く維持し、最も効率的に寿命を延長できる方法 (共用、再利用、修理など) を優先的に採用し、製品ライフサイクル全体への影響を低減させます。
各拠点における気候変動対策プログラム (CAPS)	タケダの各拠点で進められている気候変動対策プログラムです。温室効果ガス (GHG) の削減プログラムや、エネルギー・水資源の保全プログラムなどが含まれます。近い将来には、廃棄物を最小限に削減するためのプログラムも予定しています。各拠点のCAPSチームは、リーダーおよびプロジェクトのスポンサーと協力し、二酸化炭素排出量の削減を第一に考えながら、投資の決定やプロジェクト管理を行い、各施設において温室効果ガス排出量を削減して最終的にゼロにするためのプランを練ります。
気候変動	地球規模または地域的な気候パターンが長期的に変化することを指します。化石燃料の燃焼によって発生した二酸化炭素や、メタン、亜酸化窒素 (N ₂ O)、特定の冷媒といったその他の温室効果ガスが大気中に増えたことが主な原因だと考えられています。
エコロジカルデザイン/ エコデザイン	サービスや製品のライフサイクル全体にわたって環境保護基準を統合する原則であり、アプローチです。エコデザインの主な目的は、(製品の製造、使用、廃棄による) 環境への悪影響を予測し、最小限に抑えることです。同時に、理想的な使用状況に応じた製品の品質レベルを維持することも目指します。エコデザインの原則は2002年に公表され、 ISO/TR14062 にまとめられています。
環境サステナビリティ	人間と自然が生産的に調和しながら共存し、将来の世代がそのニーズを満たせなくなるような事態を引き起こすことなく、現在のニーズを満たせるような状態を実現・維持できるようにすることを意味します。

重要な用語の解説 (2/3)



重要な用語	解説
グリーンケミストリー	有害物質の使用または生成を削減または排除する化学製品およびプロセスのことです。この用語は、化学製品の設計、製造、使用、廃棄に至るまでのライフサイクル全体に適用されます。化学製品の製造に使用される主原料、試薬、溶剤、その他の製品に含まれる有害な化学物質を極力削減・排除することによって、汚染を減らすことを目的としています。
グリーンラボ	ラボ（研究所）は、あらゆる産業において最も資源を消費する空間の一つです。廃棄物、エネルギー、水消費量を継続的に削減し、使い捨て用品の代替品を見つけ出すことにより、サステナブルな方法でラボを運営することを意味します。
温室効果ガス (GHG)	地表から放出される赤外線（正味の熱エネルギー）を吸収し、それを地表に再放射することで温室効果をもたらすガスの総称です。二酸化炭素、メタン、水蒸気なども温室効果ガスの一種です。化石燃料の燃焼、工場生産、土地利用の変化によって発生する二酸化炭素 (CO ₂) が、温室効果ガスの大部分 (70%以上) を占めます。メタン、亜酸化窒素、および「Fガス」と呼ばれる微量ガスも、これまでの温暖化に大きく関わっています。世界的に地域を問わず、温室効果ガスの主要排出源は、電力および熱、農業、輸送業、林業および製造業です。排出の大部分が、あらゆる種類のエネルギー生産活動によるものです。
温室効果ガス (GHG) 排出量 - スコープ1	自社施設における燃料の燃焼、社用車、施設に設置した機器など、自社で所有または管理している排出源から直接排出される温室効果ガスの量を指します。自社の事業活動による排出の一部です。
温室効果ガス (GHG) 排出量 - スコープ2	外部から供給された電力、熱、蒸気を自社で消費したことによって間接的に排出される温室効果ガスの量を指します。自社の事業活動による排出の一部です。
温室効果ガス (GHG) 排出量 - スコープ3	サプライヤーから供給される製品およびサービス、従業員の出張および通勤など、バリューチェーンで間接的に排出されるすべての温室効果ガスの量のうちスコープ2に含まれないものを指します。
グリーンリース・リーダー	<u>Institute for Market Transformation</u> および <u>米国エネルギー省 (DOE)</u> が推進する、環境負荷の低減に寄与する不動産物件のリース事業者を認定する制度です。
ライフサイクル設計	原材料の採取および加工から、製造前、製造、流通、使用、そして再び材料を産業サイクルに戻すまでの環境負荷を評価するライフサイクルアセスメント (LCA) を通じて、ライフサイクル全体で環境への影響を考慮し、それに基づいて環境に配慮した製品設計を行うことです。

重要な用語の解説 (3/3)



重要な用語	解説
パリ協定	気候変動抑制に関して結ばれた、法的拘束力を持つ国際協定です。第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）が開かれたフランスのパリにおいて、2015年12月12日に196カ国の合意により採択され、2016年11月4日に発効となりました。その目標は、産業革命以前からの地球の温度上昇を2℃未満に、できれば1.5℃に抑えることです。
私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティコミットメント	「私たちの存在意義（Purpose）」「私たちが目指す未来（Vision）」「私たちの価値観（Value）」を指針とし、私たち一人一人の力を結集してサステナビリティへの取り組みを行うことです。そうした取り組みがあっこそ、タケダのような企業は、いまだに有効な治療法が確立されていない疾患に対する医療ニーズに取り組み、医療制度の持続可能性を支え、気候変動を抑制し、すべての人々が生き生きと活躍できる多様で包括的な組織をつくり上げることができるのです。
Race to Zeroキャンペーン	さまざまな企業、都市、地域、投資家たちの支援を募り、リーダーたちが協力し合って、健康で、逆境に負けないしなやかな強さ（レジリエンス）を備えたゼロカーボン復興を目指すことにより、将来の脅威を回避し、適正な雇用を創出し、包括的でサステナブルな成長を遂げることを目指すキャンペーンです。タケダは2021年、Race to Zeroキャンペーンに参加しました。
設計段階からのサステナビリティ	製品を中心とした環境保護へのアプローチです。製品のライフサイクルに関わる製造業者、小売業者、ユーザー、廃棄業者に対して、製品の環境負荷低減への責任共有を呼びかけます。ある製品が、原材料調達、研究、開発、製造、流通、使用、廃棄処理までの各過程で、人間の健康および環境にどのような影響を及ぼすかを理解し、管理し、話し合う責任を、その製品のライフサイクルに関わるバリューチェーン全体で共有するための取り組みを意味します。
サイエンス・ベースド・ターゲット・イニシアティブ（SBTi）	カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）によって2015年に発足した共同イニシアティブです。企業に対し、地球の温度上昇を産業革命以前から1.5℃/2℃未満に抑えるために必要な脱炭素化レベルとして、科学的に要求される基準を満たす温室効果ガス排出抑制目標を設定するよう呼びかけ、気候変動対策に取り組む意欲と行動を喚起することを目的としています。企業が温室効果ガス排出量を抑制するための明確な道筋を示すことで、気候変動による最悪の影響を防ぐとともに、将来の事業の成長をサポートしています。
サステナビリティ	将来の世代がそのニーズを満たせなくなるような事態を引き起こすことなく、現代のニーズを満たせるように注力することを意味します。サステナビリティの概念は、 経済、環境、社会 （言い換えれば、利益、地球、人間）の3つの柱で構成されています。
埋め立て廃棄物	最終的に埋め立て処分される廃棄物を指します。これを削減するための対応策としては、廃棄物の発生源を減らす、リサイクル/再利用を促進する、工程/プロセスを変える、環境チームによる活動を展開する、測定法を改善するなどの方法が考えられます。